

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護過程演習	NSP23_001	必須	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
窪川 理英	404	r.kubokawa	金曜日 12:00～13:00		
授業の目的・概要	看護場面では、まず対象者の看護問題に着目しその対象者の個別に沿った看護援助を行う。この看護問題を考えることが看護の基本思考である。本学では、V.ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」に基づいて、看護を実施する思考方法の基本である看護過程の展開方法を学ぶ。本授業では既習の人間の見方や発達課題・心理的状況・社会的役割、人体の構造を機能と疾患を理解し、対象者の健康問題や看護問題を自らの力で考える力を修得する。授業では、事例を基に、PBLを基本に看護問題を考え同時双方向型授業で行う。				
学習上の助言	授業では、事前にV.ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を熟読する。また既習の人体構造機能学、生化学、人間の生殖と発達、病理学で学んだ知識が必須となるため、復習し事例検討に臨むことが重要である。				
教科書	・看護の基本となるもの (再新装版) 著：V. ヘンダーソン/日本看護協会出版会/2016 ・系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 著：有田 清子 他/医学書院/2019				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	V.ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を活用し看護過程を説明することができる。		HSU(1)~(3)、NS(1)~(5)		
②	看護過程の各段階を理解し記録することができる。		HSU(1)~(3)、NS(1)~(5)		
③	事例から看護問題を説明することができる。		HSU(1)~(3)、NS(1)~(5)		
④	看護問題から看護計画を考えることができる。		HSU(1)~(3)、NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護過程の概要と各構成要素とその関係性を理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p218～238) を予習する。	1	
2	看護過程の基本的思考となる問題解決過程・クリティカルシンキング・看護倫理・リフレクションを理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p238～252) を予習する。	1	
3	看護過程の構成要素のアセスメント (情報収集について) をV.ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を指標にして理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p252～261) を予習する。	1	
4	看護過程の構成要素“看護問題の明確化”について理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p261～266) を予習する。	1	
5	看護過程の構成要素“看護計画”について理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p266～268) を予習する。	1	
6	看護過程の構成要素“実施”について理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p268～270) を予習する。	1	
7	看護過程の構成要素“評価”について理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。指示された事前課題で予習する。	2	
8	事例のアセスメントを考えることにより多角的にアセスメントを理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。指示された事前課題で予習する。	2	
9	事例の看護問題の明確化を考えることにより、個別的な看護問題を理解する	対面授業	授業資料を読み返す。指示された事前課題で予習する。	2	
10	事例の看護問題の明確化を考えることにより、個別的な看護問題を理解する	対面授業	授業資料を読み返す。指示された事前課題で予習する。	2	
11	事例の看護問題の明確化を考えることにより、個別的な看護問題を理解する	対面授業	授業資料を読み返す。指示された事前課題で予習する。	2	
12	事例の看護問題の明確化を考えることにより、個別的な看護問題を理解する	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p270～277) を予習する。	2	
13	看護記録について学び理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。教科書で次の講義範囲 (p256～257) を予習する。	2	
14	看護診断について学び理解する。	対面授業	授業資料を読み返す。指示された事前課題で予習する。	2	
15	看護過程について看護診断を踏まえて考え 15 回のまとめを行う。	対面授業	授業資料を読み返す。試験に向けて本授業を振り返り学習する。	2	
試	看護過程の基礎知識の確認				

[専門教育科目/看護の基本]

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	60	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	40	20	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	試験形式で看護過程の知識を確認する。				テストの回答を公表を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	提出された事例の看護過程記録から各看護過程の構成要素についての理解を確認する。				事例の看護過程レポートの添削・返却を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
<p>教員の実務経験：看護師として 20 年以上の実務経験 実践的授業の内容：実務経験のある教員のもと、初学者に沿った事例を取り上げ教科書の事例と比較しながら学習する。</p> <p>○演習時は、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバス変更の可能性がある。その際は随時提示する。</p>							